

# 会報

2012 ▶ 2013  
WEEKLY REPORT



奉仕を通じて  
**平和を**

田中作次

2012-13年度  
国際ロータリー会長

留萌  
ロータリークラブ  
会長目標

ロータリーを楽しく・  
学び・奉仕しよう

会長／山本讓二 幹事／森 幹雄

## プログラム

- 本日
 

IM準備夜間例会	会員誕生日 3月28日 行徳 幸治 3月31日 渡邊 裕久	結婚記念日 3月29日 堀 光輝
----------	-------------------------------------	---------------------
- 次週予定
 

		特別慶祝(還暦) 3月28日 行徳 幸治
--	--	-------------------------

No. 2551  
第35回 3月27日

出席報告

前 例 会	会員総数……………42名
	出免会員……………10名
	出免出席……………5名
	基準会員出席……………21名
	出席率……………70.27%

前 々 会	第32回 2月27日
	欠席会員……………0名
	内メイクアップ……………0名
	修正出席率……………100.00%

例会／毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

## 会長報告……………

1. 昨日、清水ガバナー補佐、森(俊)副会長と私の3人で深川RCを訪問してまいりました。5月に留萌にて開催する第1グループIMのPRと、出席の要請をお願いして参りました。

ゲスト  
日本ハムファイターズ留萌後援会  
会長 高橋 雄輔様

## ニコニコBOX……………

累計 540,200円

## プログラム……………

「日本ハムファイターズ後援会と  
留萌市応援大使について」  
日本ハムファイターズ留萌後援会  
会長 高橋 雄輔様

皆様こんにちは。私は日本ハムファイターズ留萌後援会会長の高橋でございます。実は先月の18日に対馬さんから電話をいただきまして、日ハムの応援大使について話をしてくださいとの依頼をいただきました。対馬さんはJCの大先輩でして、電話なんかいただく事はあまり無いものですから何かとお聞きしましたら、今日ハムで応援大使というものをやっているけれど、それについて話をしたいと言われてました。しかし残念ながら日ハムの応援大使については担当部署が市役所でございます、市役所

## 第34回 3月13日(水) 天候/雨

の経済港湾課が窓口となっております。後援会も連携して関わっておりますが、本日は窓口の市役所に代わってお話をしてくださいとの事と、後援会のPRもして良いとの事でしたので、先輩の依頼をお引き受けいたしました。

私は先ほどご紹介いただいた通り、昭和30年生まれで“巨人大鵬玉子焼き”の時代にどっぷりと浸かった世代ですので、本来は大の巨人ファンでございました。1999年に私たちの先輩であります若松さんがヤクルトの監督になった時に巨人ファンからヤクルトファンに移りました。若松さんは2005年まで監督を務めましたので、その頃までファンとして応援いたしました。

皆様もご存知の通りその頃、日本ハムが北海道に来るといった話でありましたが、私自身、日本ハムファイターズにどんな選手が居るのかも知りませんでした。皆様もあまりご存知ないと思いますので、日本ハムファイターズの歴史について少しお話をさせていただきます。

1945年(昭和20年)にセネターズという名前が球団がスタートしまして、コロコロ名前が変わりましたが、1954年に東映フライヤーズ、映画会社の傘下で球団が活動をいたしました。1962年水原監督の下、土橋正幸、尾崎行雄両エースの活躍で初のリーグ優勝をし、日本シリーズは阪神を破り初の日本一となっております。1973年に不動産会社の日拓ホームズという会社を買収されまして、日拓フライヤーズとして皆様のご記憶にあると思いますが、七色のユニホームを着用して話題になりました。ただし、この日拓ホームフライヤーズは1年しか持ちませんで、その年の暮れに日本ハムに売却され、この1973年に日本ハムファイターズが誕生いたしました。今年でちょうど40周年でございます。当時の監督は中西太監督で、皆様ご存知の張本選手が在籍し、実力のある選手がいるのになかなか優勝出来ないチームでした。その張本選手も1974年に7度めの首位打者を取りましたが、翌年1976年に巨人にトレードされて居なくなってしまいます。

東映フライヤーズ時代にやくざ打線という名前がありまして、日ハムになってから言葉が悪

いということで、そのような雰囲気の手は出してもらおうということで、当時、大杉・木下などという選手がおりましたが、それらの選手は皆出てもらいました。ところが1976年、やくざ打線ややくざという事は払拭したはずなのですが、監督に就任したのが大沢監督でした。1980年に高橋直樹と広島江夏のトレードがございまして、翌年1981年に、当時前後期制をとっており、後期優勝を果たし、プレーオフでロッテを破りリーグ優勝をいたしました。しかし日本シリーズでは巨人に負けております。

1987年、当時は後楽園がフランチャイズ球場でしたが、その年に後楽園が無くなりました。

1988年には東京ドームへと変わりましたが、皆様もご存知の通り、巨人と同じホームですので、良いところは皆巨人に持っていかれました。この当時観客動員数は245万人でして、札幌ドームでもこの数字を元に200万人を目指しています。しかし、球団も何を勘違いしたか、245万がすべて観客ではなくドーム見学にきたお客様も含まれているとの事でした。東京ドーム時代の16年間に日ハムは1回も優勝できなかった事で、1992年に大沢監督が3度目の監督として復帰。当時のエピソードでは94年に最下位になった時にファンの前で土下座をいたしました。

北海道に移る前、2002年に北海道新聞に大々的に北海道に日本ハムが移ると書かれていましたが、実はこれには伏線がございまして。当時、日本ハム以外にも札幌ドームを狙っていたチームがございました。西部ライオンズでございまして。当時関東に6チームございまして、観客動員数が伸びなくてフランチャイズを移そうと考えていたのがこの2チームでございました。水面下で色々話を進めていたのですが、道新に日本ハムの戦略がスッパ抜かれそうになり、慌てて札幌ドームの方と契約をしてしまいました。今も言われ続けているのが、本来、球団の収入は観客の入場料収入、スポンサー収入、広告収入、飲食関係のロイヤリティなどですが、球団は慌てての契約だったものですから、この飲食の契約をしていません。ですからドームで食べたり飲んだりするは、全てドームの収入になります。

です。札幌ドームはすごく儲かっている会社でございます。

2002年、トレイ・ヒルマン監督になりまして、2003年にはあのサンフランシスコジャイアンツにいた新庄選手を獲得いたしました。2004年に札幌ドームに本拠地を移し、チームは3位でしたが、この年に大事件がございまして、球界初のストライキがございました。この年はヤクルトからFAした稲葉選手を獲得しましたが、日ハムがFAで選手を取ったのはこれが初めて最後でございます。この年にドラフト1位でダルビッシュを取っております。

2006年に25年ぶりにリーグ優勝をし、中日を下し44年ぶりの日本一になりました。しかし、この年に新庄選手が引退し、小笠原がFAで巨人に、岡島が大リーグのレッドソックスに入団してしまいました。ドラフトでは長野を指名するも拒否されてしまいました。2007年にはリーグ連覇はしましたが、日本シリーズでは中日ドラゴンズに敗れ、それも最後の試合では2人の投手に完全試合をされてしまいました。この年のドラフト1位は、現在活躍している中田選手でございます。2008年には梨田監督になりまして2009年には5度目のリーグ優勝。但しこの年も巨人に敗れて日本一を逃しています。この年は観客動員数が199万2500人までいきましたが残念ながら200万人には届きませんでした。次の年にドラフト1位で斉藤祐樹投手をとっています。2011年に梨田監督が退団し、栗山新監督になっておりますが、一度もコーチの経験のない人を監督に迎えるという事で色々とお話ございましたが、昨年見事にリーグ優勝しました。野球の解説者においては、昨年日本ハムを最下位とする人も多かったのですが、それを良い意味で裏切ってくれて、大変日本ハムは戦力分析の出来ないチームとなっています。田中賢介選手がジャイアンツに移籍し、今話題になっておりますが、糸井選手と八木選手がオリックスへトレードとなりました。このトレード話において一番ビックリしているのがおそらく糸井選手本人だと思います。この話にも色々ございまして、糸井選手には代理人が就きまして、この代



理人というのが元巨人の incoming 選手の代理人だった人でございます。当時も巨人軍の球団と揉めたという事で、今回もたしかチャンピオンする3日から4日前にオリックスへの移籍だったと思います。日本ハム球団の特徴と致しましては、低コストで選手をそろえるということで、12球団の総年棒では6番目。一応1位は巨人、2位は阪神です。観客動員数では第5位で、パリーグではソフトバンクにつき第2位でございます。年棒を抑える意味で日本ハムの選手は過去におけるスキャンダルは問わない事になっております。この様な選手は安く使えますので、皆様も良く知っている選手では、留萌の観光大使にもなっている二岡選手なんかもそうですし、多田野選手もアメリカの如何わしいビデオに出ているとか出てないとか。

それと日本ハムファイターズは左右非対称のユニホームを着ており、大変女性に受けているようで、アンケートではカッコ良いと言われております。札幌ドームでは3塁側がホームチームとなっております。これは札幌ドームだけで、球場のレイアウトがそうっており、3塁側に監督室があり、3塁側の方が電光掲示板が見やすくなっております。また札幌ドームではラッキー7ではなくて、ラッキー6となっております。7回の表ではなく6回の裏に応援がなされます。これは統計的に日本ハムは6回に点数を取る事が多いという事からだそうです。

ここまでザッと日本ハムの歴史についてお話をいたしました。今年10周年を迎えるということで、日本ハム球団が10周年プロジェクトと題して様々な取り組みを行なってまいります。

## 第34回 3月13日(水) 天候/雨

その第1弾として、北海道には179市町村ありますが、そのすべての市町村で地域住民と交流を図りながら、まちづくり、まちおこしに協力する応援大使を派遣し、2013年度から10年間かけて協力していく一大プロジェクトです。今年1月より18市町村で各2名ずつの選手が応援大使として活動します。現在、このプロジェクトについて球団と連絡を取り合っているのが市役所でございます。そんな中で、皆様にお渡しした資料3枚目にある北海道民550万人大抽選会が開催されますが、これが第2弾となります。募集対象は2013年対象18市町村にお住まいの皆様で、時期はまだ決定しておりませんが、観戦チケットを50組100名の方々に差し上げるという事で、交通費も食事も球団が用意いたします。

日本ハムファイターズ留萌市応援大使についてですが、留萌市のホームページに掲載されているものをプリントしてあります。留萌市の応援大使となったのは二岡智弘選手と村田和也選手です。この応援大使が留萌市のPRや地域活性化のお手伝いをいたします。対象期間は平成25年12月31日までに実施する事業になりますが、今回留萌市では萌っ子春祭りで、ポスターにロゴマークを入れたり、2人の応援大使の写真を入れたりしております。また大抽選会には2人のサイン色紙をいただいて、景品としています。

ところで皆さんは、これらの選手を自費で呼ぶといくらかかるとお思いますか？トークショーやサイン会などをやってもらうとして…実は一人25万円です。今から5年前に、私たち日本ハムの後援会でこの村田選手と鶴久森選手を呼んだ事がありまして、この時は食事代や旅費などで、二人で60万円かかっております。今回、まちおこし等であれば無料で選手が協力してくれるという事でございますので、連合商店街やその他の団体で、色々なやり方があると思いますので、ぜひ利用してみてもおと思います。ただ、予定としては11月以降になるとお思います。シーズン中は絶対無理ですので、シーズンオフになった時に二人を呼んでトークショーをするだ

とか、サイン会をやっていただくとかが良いとお思います。

現在、もう3月ですが留萌市では既にこのプロジェクトを使ってやってきた事がございます。JRやお勝手や萌さんに二人の等身大のパネルを飾ってPRしたり、球団の広報誌にはこの応援大使の事がでておりますし、二人の応援メッセージを戴きたいという事で成人式に二人からビデオレターをいただいております。また沖見小学校の閉校式にも二人からのメッセージをいただいておりますし、各小中学校の卒業式にもメッセージをいただいております。

先月、キャンプ地訪問という事で、中西副市長さんと共に留萌から11名参加しまして、留萌市のかずの子とルルロツと南留萌米を選手に渡して参りました。またこの時に贈呈式を行い、二人の選手に観光大使の名刺も渡して参りました。営利目的ではなく、地域おこしやまちおこしであれば球団として協力するとの事でしたので、ぜひ皆さんもこの応援大使を利用してみてはと思います。企画を留萌市に持っていき、例えばバットにサインをしてほしいとか、色紙にサインが欲しい等ということであれば、多分OKだと思います。

(次週に続く)

